

## メダン総領事館・海外安全対策情報（2015年4月～6月）

### 1 治安情勢

#### （1）治安情勢

依然としてメダン市及び近郊では、バイク使用による路上強盗、侵入強盗、薬物事案等の凶悪犯罪が多く発生しており、治安は悪い状態にある。また、凶悪犯罪者は薬物中毒者が多く、通常、彼らは刃物やけん銃等で武装しており、抵抗して危害を加えられることが多いため、身の安全を最優先した対応が必要。路上強盗被害のリスクのある徒歩やベチャでの移動は避け、比較的安全な車での移動を心掛けるなど、外出の際は十分な注意が必要。

#### （2）ラマダン（断食）期間中の各種犯罪増加に対する注意

6月18日（木）よりイスラム暦の断食期間に入った。この時期は、イスラム教徒が帰省等するため、まとまった費用が必要となることなどから、例年、各種犯罪が増加する傾向にある。長期の不在等の際には、戸締まりを徹底する、使用人には身分の不確かな者を家に入れないよう徹底する、外出の際は周囲の警戒を怠らないことが求められる。また、平時より警察による街頭活動が強化されるので、身分証明書を常に携帯することを心掛けてほしい。

#### （3）凶悪犯罪等の事例

##### ア 麻薬密輸事件に対する注意

昨年11月、西スマトラ州パダン市にある国際空港に覚醒剤を密輸した日本人男性に対する裁判が行われ、5月に終身刑が確定した。インドネシアでは麻薬密輸の最高刑は死刑となっている。航空機等でインドネシアに薬物が持ち込まれる事件が相次いでいるため、空港等では他人から絶対に荷物を預からない、荷物から目を離さないなど、念のためしっかりとした自衛措置が必要。

##### イ パンク強盗に対する注意

メダン市及び近郊ではパンク強盗がしばしば発生している。主な手口は、駐車中の車両のタイヤ前に釘を置き、発車後に尾行、運転手が車の異常に気付き、路上等で降車したところを、所持品等を無理矢理奪うといったもの。車の異常に気付いた際は、強盗犯に狙われている可能性もあることから、ガソリンスタンド等、人気の多いところまで移動してから確認するようにしてほしい。

##### ウ クレジットカード盗難に対する注意

6月中旬、メダン市内の繁華街で、何者かが盗難したクレジットカードを使用し、貴金属店で被害者（日本人配偶者：インドネシア国籍）に成りすまし、多額の現金を引き出すといった事件が発生した。被害者によれば、盗難されたクレジットカードは全て被害補償が適用されないとの由であった。同様の被害に遭わないように、クレジットカードを適正に管理する他、顔写真入りカードの導入の検討、保有するクレジットカードの被害補償

の範囲の把握、盗難時の緊急連絡先等の確認を行うことが望ましい。

## 2 自然災害

6月2日、シナブン山は火山活動の活発化に伴い、同山の警戒レベルを3から最高の4に引き上げ、山頂の周囲は最大で半径7キロが立入り禁止区域とされた。同山は断続的に噴火を繰り返しており、同山の東側にあるブラスタギ（高原の避暑地）等には降灰等の影響が生じている。今後、風向き次第で火山灰によりクアラナム空港の航空機の離発着に影響が生じる可能性があるので、引き続き、報道等で動向に注意してほしい。

## 3 軍用機墜落事故

6月30日、メダンのスウォンド空軍基地（旧ポロニア空港）を離陸した軍用機が、メダン市郊外に建設中の住居兼店舗に墜落し、140名以上が死亡した。これまでのところ、日本人が巻き込まれたとの情報は入っていない。

## 4 テロ・爆弾事件発生状況

関連情報はない。

## 5 誘拐・脅迫事件発生状況

関連情報はない。

## 6 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られない。

## 7 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はない。

以上